

# 平成 27 年度 鑑石園 ショートステイ

## 事業報告書

### 1. 事業運営の概況

特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターと連携して、業務内容を見直すと共に、レクリエーションとリハビリテーションの充実に努め、利用者楽しく過ごしていただけるよう、工夫を凝らした。

稼働率確保を目標に毎月の事業所回りをを行うとともに各種研修に参加し、他事業所のケアマネジャーとのコミュニケーションを図った。

また、介護報酬改定に伴い加算の見直しを行った。

### 2. 事業計画実施状況

#### (1) サービスの充実

- ・ 新規利用者受入れの際は、相談員が作成したアセスメントを基に、ショートステイの全職員に対し利用者本人の状況を周知し、提供するサービスについて、事前に検討を行った。
- ・ 利用者、家族、担当ケアマネジャーと話し合い、個々の利用者について作成したケアプランに基づき、利用者本人と家族が満足できるサービスの提供に努めた。
- ・ ショートステイ利用中に起きた事故については、ただちに家族に連絡し、事故の詳細と怪我の有無、受診の可否等、わかりやすく説明するとともに謝罪し、誠意のある対応を心掛けた。
- ・ 家族とのコミュニケーションを充実させ信頼関係を築くため、送迎時に家族との会話を心掛け、入所時には利用者の心身の状態等を聞き、退所時は、利用中の様子を報告するよう努めた。また家族の負担を考慮し、退所時には衣類を洗濯してきれいな状態で返却するよう努めた。
- ・ 職員教育の一環として、特別養護老人ホームが行う内部研修に積極的に参加した他、ミーティングの際勉強会を行い、職員資質の向上を図った。
- ・ 利用者の身体状況に合わせてベッドの配置を決める等、安全対策に努めた。また、施設職員、看護職員と連携し、見守りの強化を図った。夜間帯にはフットコールを設置し、転倒防止に努めた。

#### (2) 稼働率の確保および維持

- ・ 稼働率を向上させる為、各居宅介護支援事業所に空き情報を提供し、積極的に営業活動を行った。

- ・ 空床時には緊急利用にも対応できるよう、家族とのコミュニケーションを重視し、臨機応変な対応を心掛けた。
- ・ 日曜日には職員数が不足することから、家族による送迎のみを受け入れていたが、職員配置を工夫し、可能な限り送迎を実施することで受入を拡大することができた。

### (3) 機能訓練、レクリエーションの充実

- ・ ケアプランに基づき、機能訓練指導員と介護職員が協働して生活リハビリを行った。またデイサービスと協力してレクリエーションを行った他、特別養護老人ホームが主催して行う年間行事に積極的に参加することで、気分転換と意欲の向上に努めた。
- ・ 手作業を中心としたリハビリテーションを行い、作品を展示する等、達成感を味わうことができるよう工夫した。実施したリハビリテーションについては、機能訓練記録・作業記録簿に詳細を記入した。
- ・ 口腔機能を維持する為、食事前の口腔体操を実施した。
- ・ 平成 27 年度に参加した行事については次の通り

4 月	花見
5 月	新茶の会
6 月	海に見える公園外出
7 月	七夕・納涼祭
9 月	岩本山公園外出
10 月	ロゼシアター福祉展見学・富士川楽座外出
12 月	クリスマス会
2 月	節分
3 月	ひな祭り

### (4) 衛生管理

- ・ 感染症を予防するため、シーツ交換時にベッド周りの消毒を行った。また、毎週1回食器類の消毒を実施した。
- ・ 感冒症状のある利用者に対しては、居室の配置等の調整を行った。
- ・ 職員及び利用者の手洗いとうがいを励行し、感染予防に努めた。